

新型コロナウイルス感染症の影響による路線バス、タクシーの利用状況の変化と対策等

新型コロナウイルス感染症による利用者数及び売上げの減少に関する状況について、アンケート調査を実施した結果は以下の通りです。なお、回答は国立市地域公共交通会議(書面会議)において、報告することを前提に差支えない範囲での回答となっております。

1.立川バス株式会社(バス)

①新型コロナウイルス感染症による利用者数の状況(上水営業所管内)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数	1,007	982	822	913	832	899	878	782	778
(人)	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人
昨年同月比(%)	▲7.0	▲5.0	▲23.6	▲20.5	▲25.4	▲19.1	▲22.6	▲28.1	▲26.7

②令和2年度の売上状況について(昨年度比較でどの程度の減少を見込んでいるか等)

一般路線(コミュニティ、高速バスを除く)対前年比▲30%減の見込みとなっている

③売上げの減少への対策として実施している事業

- ・利用者減少に伴う空港線の運休(成田)、減便(羽田)及び都市間高速バスの運休
- ・雇用調整助成金制度や小学校休業等対応助成金(3/1～6/15の期間)の活用
- ・4月～5月末にかけて、一部路線を除き平日ダイヤを土曜ダイヤに変更
- ・1月18日から3月7日予定で一部路線を除き平日ダイヤを土曜ダイヤに変更

2.京王電鉄バス株式会社(バス)

①新型コロナウイルス感染症による利用者数の状況(京王バス全体)

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数(人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
昨年同月比(%)	▲55	▲60	▲35	▲30	▲28	▲27	▲28	▲28	▲28

②令和2年度の売上状況について(昨年度比較でどの程度の減少を見込んでいるか等)

路線バスは年間で対前年約30%減、高速バスは約70%減、会社全体では約35%減
高速バスは5月に最大限幅96%減を計上

③売上げの減少への対策として実施している事業

- ・需要の減少に合わせた減便
- ・深夜時間帯運行を効率化

(裏面に続きます)

3.銀星交通有限会社(タクシー)

①新型コロナウイルス感染症による利用者数の状況

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数(人)	10,336	11,046	17,071	18,752	17,093	17,752	19,754	17,647	19,374
昨年同月比(%)	36	41	61	65	61	67	71	64	64

②令和2年度の売上状況について(昨年度比較でどの程度の減少を見込んでいるか等)

タクシー事業の場合はお1人様での利用が増えた為、利用者の減少と売上の減少が正比例しておりません。当社の場合利用者の減少率(上記平均40%)に対して売上の減少率は32%(同期間の平均)となっています。

2回目の緊急事態宣言後も11月からの前年比と同じ水準で推移している為、年間で3割強の減少を見込んでおります。

③売上げの減少への対策として実施している事業

福祉部門等、社内比較において落ち込みの少ない業務への注力。
新規事業としては物資の輸送業務等も検討しています。

4.多摩交通有限会社(タクシー)

①新型コロナウイルス感染症による利用者数の状況

令和2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利用者数(人)	6,989	7,486	13,746	16,114	16,386	17,520	18,765	15,840	15,863
昨年同月比(%)	30.2	35.5	60.8	71.5	69.9	84.1	89.9	75.6	72.1

②令和2年度の売上状況について(昨年度比較でどの程度の減少を見込んでいるか等)

暦年ベース(1~12月ベース)で77%(23%減)。

③売上げの減少への対策として実施している事業

休業による人件費抑制と雇用調整金利用以外は特になし。
ウーバーイーツのようなタクシーによるデリバリーが認可され話題となっているが実施事業者によると売上げへの貢献はコンマ以下(0.0#%)程度とのこと。